# 磐城新聞

(十九日夕刊)

休刊 大祭第一、第三日曜
定價〔壹ヶ月 五十錢、郵税十錢〕
廣告料〔一行二十五錢指定は倍增〕
發行兼編輯印刷人 遲沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社


## 「らつぱ」第三輯を中心に(上)

平田哲

もう既に批評済みになつたとは信じつゝも僕は「らつぱ」第三輯を讀んで何かしら一言書きたくなつたのである。後れ馳せなことは僕が今日まで「らつぱ」を忘れてゐたことゝ最近本紙を目にする機會のなかつた事に原因するのでこの點は殘念に思ふ。さきに僕は「らつぱ」の創刊號を評して――期待すべきものがない――と云つたがその後第二輯を見ることが出來ずにゐたのでそのまゝになつてゐる。今一足飛びに第三輯を讀むに及んで幾分かの訂正を必要とする樣である。と云ふのは「らつぱ」が漠然とながら「播種者」以來の生々しい傳説を繼承してゐるから外ならない。どの點で過去の傳統を繼承してゐるか。勿論僕が第二輯を未だに讀んでゐないのではこれに就いてはつきりした答を下し得ないのである。第三輯を見た丈けでも全体的に知り得られる。それはこれらの詩人たち(所謂詩人の意味でなく)が意識的にも無意識的にも一貫して土くれの詩人であることだ。從つてイデオロギーとして農民層を代表し、それが不徹底な小市民性としてのルンペン的それを示してゐることだ。結局現在に於てそれは「播種者」に見られる一貫した根強さよりも多分にイデオロギーの破綻を見せ勝ちである。これらの詩人がその――うたふべきもの――を失つてゐるのではないかといふ杞憂(?)がさゝに在る。ただその過去の傳統を繼承し正しき歴史の方向を見出すこと更にその方向へ一步前進せんとすることは全然生れ變ることではない。腐れかけたイデオロギーの清算を意味するのだ。真實に存在を意識し現實の社會を認識することを意味するのだか、自分自身をはつきりと味方か敵かに武裝することである。僕が千遍もこの事を繰返すのは露骨に主張を表現せよといふことではない。何となればそれは藝術一般の範疇外に出づるからだ。飽くまでも人々の感情を組織し高めることによつてプロレタリア、イデオロギーの方向へ導くべきが階級藝術の機能なのだから。それは既にトルストイの説くところとして一般に認められてゐるものである。

### 明日の吉凶

舊暦十月二十日　新暦十一月二十日

▲一白の人 迷ひの淵にしづむより氣を晴れ〴〵しく持つべし▲二黒の人 たくるとも顯がざるやうに靜々と進むが勝ち▲三碧の人 生氣盛んなる日ゆゑに氣をそへて勵むべし▲四緑の人 心靜かに萬全の策に向つて進めば吉日なり▲五黄の人 むくひ少くとも隱忍して時の來るを待つべし▲六白の人 油斷する時は意外の失敗を生ず注意肝要▲七赤の人 進むこと七分まもること三分なれば間違ひなし▲八白の人 乘り出すべき運の見えて居て足の進まぬ日

### 講談 幕末奇傑 高山彦九郎 (1)

西洋々作　布施長春畫

双葉の頃(一)

ほの〴〵と、夜は明け放れてゆきました。

あちこちの、露しげい叢から、朗らかな歌ひの尾をひいて、飛び立つてゆく小雲雀たちも、ほんの今、眼をさましたばかりのところらしいのです。都の騷音とは、また違つた、快い音調の、和やかに澄んだ早朝の空高く、朗らかに流れ渡つてゆきました。

「お父上、あれ、御覽遊ばせ。お日樣は、今日も、亦おほらかに昇らせてござゐます」

こゝは、上野國新田郡細谷の村はづれ、とある菩提寺の墓地です。「高山良右エ門正種之墓」としるされた、墓標の前にぬかづいて、生ける人に、もの云ふが如く、昇る陽をたろがみながら、かう云ふ少年がありました。

彼は、五尺に餘る身長をもち、理性の強さを物語る眼光は、人を射る如くでありましたが、まだ紅顔の頬は流石に十六七の若さを見せてゐました。

木綿ながら、垢つかぬ衣服を纏ひ、百姓の子とは思へぬ立派な言葉つきで、彼は更に獨白しつゞけるのでした。

「昨日も、一昨日も、いゝえ、來るいつの日も、お日樣は、新田の里を照らされておはしました。たとへ雨、雲のわざわひする日がありませうとも、一日二日たてば、またたうがむこともかなひまする。恐らくは、これから、幾千とせの後までも、お日樣は、輝いておはしませう。然し、今の世は、何の世なのでございませう。その日樣と共に、二つなくたはしますべき天朝樣は、憎い足利奴の專橫に掩ひ消されまして……おゝ、お父上樣、彦九郎、無念に存じまする」

いつか、はら〳〵と、涙はあふれて、少年彦九郎の頬を傳ひ流れるのでした。

この言葉。この涙

冠沓逆置の世の姿に、云ひ知れぬ憤怒を覺えた彼の涙は――無心の草の葉陰に宿る露よりも清いものがありました。

彼――少年彦九郎は、この墓標の下に、さみしく眠る良右エ門が次男でした。早くこの世を去つて、その後は、慈愛深き祖母お里と、祖父貞正(良翁)の理解あるはぐくみの中に、人となつて來たのでした。

高山家は、その祖に、新田左中將義貞の臣で、新田十六騎中の隨一人を以てうたはれた高山遠江を戴き、主家沒落ののち、民間にこそ下りましたが、代々苗字帶刀を許されてゐる程の名家でした。

かく、その家に、傳はる血は、勤王の情熱にもえてをりましたから、その家を繼ぐ彦九郎は、幼きより、叔父劍持長藏について太平記を修め、また、師については、素讀の敎へをうけました。

「叔父上、彦九郎は、また青表紙を讀んで居りますぞ……」

彦九郎の兄の傳藏は、家業である農業には熱心でありましたが、弟に似ず、愚鈍で、その上、物惜しみの強い性質でした。或時、不平さうに、かう云うて訴へました。

「ふむ。まだ讀んでゐるが……」

長藏は、會心さうに微笑み乍ら答へました。

「はい、朝から、まだ、鍬に手をふれないのです、あいつは、百性の道を知らないのでせうか」

「なに、百性の道だと?」

「さうです、百姓に學問は不要です」

「はゝあ、なる程」その時、長藏は答へました。「しかし、高山の家は、もとからの百姓ではない。お前も知つてゐよう、御先祖、遠江樣は人も知る新田公の寵臣。今こそ、民に身を落してはゐるが、この家には代々勤王の血――いや、武士の血が流れてゐるのぢや、それを思へば、御先祖の御心を繼がうする彦九郎は、決して、責むべきではない。」


X光線 外科專門
入院隨意(自炊の便あり)
平南町 上田外科醫院 電話一一二九

石炭ノ特賣
當店小賣部開設三週年紀念トシテ特賣致シマス
磐城炭礦一等塊炭 正味十貫目 金六十錢
炭價ハ日ニ日ニ向上致シマスガ今回特ニ金六十五錢ノ品ヲ金六十錢ニ値下致ス次第デス
◎目方ノ正確 ◎品質ノ優良 ハ當店ノ特色デス
電話二二三七番 配達ハ一俵ヨリ致シマス
平停車場前 阿部石炭商店

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
松村胃腸病科醫院 (平南町電話一〇一七番)

一圓十錢のフランス マルソー會社元詰
マルソー、ブラシク、マルソー、ルージ 生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥舖 たはなし三番

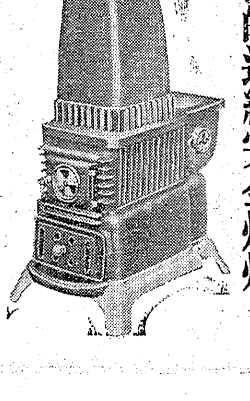
內臟外科 骨關節外科 整形外科 產科 婦人科
專門 藤本順
院長 木村寅次郎
外科 婦人科 平町新川町 木村病院 電話一六四番

貸切自動車の御用命は 昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い 昭和タクシー
平驛前 電話は三四三番 サシミ

內科、小兒科 外科一般、婦人科 皮膚、梅毒、淋疾病
市原卯太郎 市原陸郎 市原三三男
平町田町本通 市原醫院 (入院隨時) 電話一一四番

宮內省御用達
ヒゲタ醬油
醸造元 銚子醬油株式會社
特約店 平町田町 廣瀬支店 電話五四番

煖爐界之征服者
ネンショウストーブ
經濟的連續完全燃燒
消費節約 火防衛生 優美堅牢
簡便を欲せらるゝ御方は是非御試し下さい
御請求次第カタログ進呈
釜屋商店 電話九一三九番



化粧くづれのない 固煉白粉
一 汗で化粧くづれにお困りの方は、是非ホシ美固練白粉をおつけ遊ばせ。
二 ホシ美固練白粉は、化粧くづれのない上にノリ、ノビがよく、化粧榮のする特徴を有つ〔て居り〕ます。
三 このホシ美固練白粉こそ、皆樣の御滿足を購ふことの出來る品でございます。
ホシ美固煉白粉

東京 星製藥株式會社 大崎

# 二十圓の公債證書を五千圓と變造して詐欺
## 危ふく難を免れた常磐支店
## 一味平驛で捕はる

平町二丁目常磐銀行平支店に去る十六日午前十時元平町南町廿三夜堂前丸丹呉服店こと山下三次(四七)が訪れ額面五千圓の公債證書を擔保に金の融通を申込んだので銀行では四千五百圓だけ貸すべき承諾を與へ金を渡さんとする折柄該證券が變造であることを發見融通を拒絶すると同時に電話を以て平署に急報した、惡漢露見を感付いた一味は其の儘逃走同類の北郷上野、鯨岡と共に午後一時二分平驛發上り列車にて高飛びせんとする處を張込み中の平署中島刑事部長以下に逮捕され目下嚴重取調べ中であるが右變造證券は本物の二十圓額面證券の二十圓の文字を化學的方法により沫消し其の跡に五千圓と記入した極めて巧妙なもので同類一味は容易に實を吐かぬが東京を中心に大々的の證券詐欺を働らいてゐるらしく警視廳に急電し大搜査中で犯人逮捕次第平檢事局武田上席檢事、平署若林司法主任は急據上京する手筈になつてゐるが取調べの結果を仄聞するに前記山下は日頃懇意にしてゐる双葉郡廣野村生れ元平町有樂座の事務員北郷竹次郎から右證券を以て金の融通方を依頼されて常磐銀行平支店に行つたもので直接事件の張本人ではないらしいと

# 果然輿論と化した平町の家賃問題
## 値下げは寧ろ當然で
## 運動益々熾烈

平町の家賃値下については既報の如く先鞭を打つた家主もあるが尚何とかして現状維持にありたいとあせつてる家主が見受けられこれ等の行動から値下の決意をなしつゝあるが發表を見合せてゐる者さへある狀態に鑑がみ社會民衆黨支部では一般執行委員會を開き協議の結果三割値下を目標に前進することゝなり近く本部より幹部及顧問辯護士數名を招致して平町聚樂館に引下げ要求の大演説會を開く等で當に烽火は擧げらるゝに至つた而して同黨では極めて合法的實現に猛進する段取て借家人一同に家賃不拂ひを實行せしめその家賃を裁判所に供託せしめる一方大家主を最初に漸次小家主に亘つて交渉委員を向けて貫徹を圖る事となりいよいよ具体化し成行きを凝視されてゐるが高橋龜松氏は語る私は家賃値下げ問題については數年來研究してゐる一員であるが現在の家賃相場は大正五六年から八九年頃物價の最高時代の建築費に對する家賃で諸物價下落の今日當然値下げの必要がある、只だこゝに問題となるのは家賃未納の借家人の多い事で家賃を拂はずにゐて値下げさせよとは家主も承服出來る譯けがないから之れ等未納家賃を解決して後値下げを迫るが或は正確に仕拂つてゐる借家人のみに對して値下げを行ふかの何れかに進むべきであると思ふ」云々

# けふ委員七名が電氣會社に交渉
## 町會の決議を携へて
## 具體的運動開始

平町電燈料値下げ委員會は昨十八日午後一時より町役場に開き具体的運動方法につき協議の結果今十九日午後二時委員七名は左記の如き文書を携へて東部電氣會社平營業所に所長を訪問し文書を手交した上事情を具進し極力目的貫徹に努めることゝなつた

電氣料金値下に關する件

貴社の配電區域に屬する本町の電氣料金に關しては貴社の出張所は勿論本縣下及近縣並に各地に於ける電氣營業所に於ける其の料金を調査致候處當町の料金と對比する時甚し其の高額なることを認められ候而して本町の町勢進展に伴ふ商工業の趨勢と住民の社會政策とに鑑み之が低減を圖るは刻下喫緊の要項と認め之が對策講究中に有之候處偶々十月三十日本町會に於て之が料金値下の對策調査を爲すことに議決し其の調査完了を告げたるが故に本月十五日の町會に於て別紙町會議決書謄本の如く電氣料の値下をなすは本町々民の等しく要求しつゝあるの現狀に照し最も適當の價格と認められ候條貴社の御都合も可有之と存候得共右諸決の通り低減相成候樣御配慮相煩し度此段申進候也

# 金解禁に就いて（上）
經濟學士　金成增彦

政府は金解禁の時期を明言してもよいと言ふし一方爲替相場は毎日上騰するし何れ遠からぬ內て解禁されるであろう

然しこの解禁にもどんな結果を生ずるかは別の問題である、事實はなる樣になるに過ぎぬであろう、それにも不拘心を靜かにその影響を考へて見ることは徒爲ではなかろう、我邦は明治三十年金本位制を採用したそれが大正六年金の輸出を禁じた、我邦が明治三十年に金本位制を採用したのはその制度の優秀なのを認めたからである、それは金本位制度そのものが優秀であると言ふよりは英國、米國その他の金融の中心國がこの制度を採用して居るが故に我邦も同一步調をとれば爲替相場の變動が少く從つて經濟界の動搖も防止されるを考へたからである、この事を決行するには當時の大藏大臣松方正義氏が幾多の苦心と努力とを以てしたの、恐らくは松方氏が政治上に殘した第一の功勞であろう、何人も松方氏の英斷を賞賛するであろうが同時に當時の經濟狀態即ち日支戰爭講和會議の後で償金二億兩を支那より受領して之を資金として（大部分ニウヨルク拂の手形にて受取りこの手形は世界最大金額の手形であつた）金本位制を設置したのである事を忘れてはならない斯くて採用した金本位制度が大正六年に至つて金の輸出を禁止したのは何故であるか、それは米國が金の輸出を禁止したからである米國が九月七日に禁止して我邦はその後五月九月十一月に禁止したのを見ればその相互連關關係の敏感なるに驚くであろう

然らば今日の經濟狀態は果して解禁に對し適當にして且つ充分なる準備が出來て居るであろうか

若し解禁が近來の流行語とか乃至は不景氣が久しいから所か派手な經濟政策を樹てゝ天下の人心を衝動させんとするならば我々は反對せねばならぬ

たゞ現在の處金本位制度は何人も良制度と認めて居る、以上、金の自由輸出と自由鑄造とを認めることは當然である。自由輸出と自由鑄造は金本位制度の生命であるから——要は時期の問題である、國內經濟狀態の如何と言ふ問題である

否期日も既に切迫して居る政府は解禁を決定した模樣であるから今は唯解禁に依る影響を冷靜に研究して見ることとしよう

一、金解禁の影響

金の輸出を禁じて置けば對米爲替が四十六弗位を上下して居る、それは我邦に金の保有量が少いからである。御承知の樣に我邦は金の產出が少く又我邦が最も多く物品を買る支那にも金の產出が少く且つ支那は銀本位國であることゝ素より待つて日本の金の量を少くする原因であろう

今無理に對米爲替相場を法定平價迄上げて金解禁をすれば必ず金は流出するであろう、井上藏相が新聞記者に語つた所によるとその派出は一億圓以內であろうとの事だ、或人は一億五千萬圓位とも言ふ、土方博士は其の著金解禁の中で相當に多く見て居る樣である（博士は過日筆者に思惑買はどの位と思ふかねと云はれたから確實な數は何人も分らねと見た（ゑ））要するに相當の額で決して僅少の額に非らざることは明である、

金の流出があればそれだけ通貨が縮少して物價が下落するであろう、物價が下落すれば勞銀も下落することは必然である、と言ふのは生產には勞力を要する、それで生產物の値が安ければ當然働いた人に仕拂ふ賃金も安くなるのである

勿論物價が一割下落すれば勞働賃金も一割下落するものではない、紡績會社の賃金の下落を表にして計算したのを見ると物價が一割下落して賃金は一分乃至二分下落する割合になつて居るとの事である（その差額は企業者及原料提供者の損失となる）

# 櫻井大佐講演
## 廿三日平町で

平町青年團在鄕軍人分會主催で來る廿三日第一小學校講堂に大演習に參加した肉彈の著者櫻井忠温大佐を聘して講演會を開く

# 漁業資金借入　二萬七千圓
## 小名江名皆無

本縣において本年度農林省から漁業資金として融通されし一萬七千圓に對し縣下各漁業組合につき借入希望額調査中の處大体左の如く二萬七千圓に達したので縣では査定の上貸付る事になるが例年に比し借入希望の割合に少かつたのは年々一萬圓以上の借入をなしてゐた石城郡小名濱及江名兩漁業組合が例の大敷網漁業問題から二進も三進もいかなくなつたので本年は借入せぬため斯く減少を見たものである

▲四倉一萬七千圓▲諸戶五千圓▲相馬小濱二千圓▲同磯部三千圓

# 農產品評會
## 田人と上遠野で

石城郡田人組合村では二十三、四の兩日同村小學校に於て農產物品評會を開くが同期中夜間は同村消防組主催の活動寫眞會を同校に於て開催する

◇

石城郡上遠野村主催農產品評會は二十二、三の兩日同村小學校に於て開催する

# 不況に祟られる平町の歲末
## 聯合賣出しも中止か
## 緊縮の憂き世相

石城郡地方の各炭礦は營入れの石炭需要期も近付いたので昨今ボツボツ活況を呈し始めて來たが長い間の不景氣續きのことであり炭礦方面に活氣が立ち始めても平町市街地や農村方面は依然緊縮一點張りでスッカリ萎縮し切つてゐる殊に平町の商街の如きは年一回の書入時ともいへる歲末の大賣出し時を目前に控ねてゐながら苦況に耐わられず夜逃げをする大店、小店が續出ツイ二、三日前も驛前目拔きの大通りの田町食堂が

**夜逃げ騷ぎ**で商街昨今の火の消わたやうな不景氣振りに今年は年の瀨名物の聯合大賣出しさへ中止するのではないかといはれてゐる、新田町、鎌田、南町等の花街も御多分に漏れない緊縮風にたたられてそのさびれ方は全く目も當られない　比較的に南町の魔窟街は賑かだが

**散財は殆んどお定ま**りだけ三圓の金を投だす客は御大盡株だといふから黃金時代と較べて連中が溜息を吐くのも無理はない新田町や鎌田にいたつては沙汰の限りで暇い花街の仲通横通りに軒をならべた料亭の二階から三味の音の漏れ響くのも珍らしいほどでたまに大盡客があつたとすれば空財布を放り出し無錢遊興が犯罪者に定まつてゐるやうなものである、これも緊縮風が吹き捲くつた世相の一つであらう

# 高松の宮殿下勿來關お成り
## けふ自動車にて

（植田電話）茨城縣下に於ける大演習に海軍中尉の御資格を以て御臨幸遊ばされた高松宮殿下には今十九日午前十時自動車を以て水戸の假殿を御發遊ばされ午後一時勿來の關御着直ちに御徒歩を以て大竹勿來町長の案內にて約一時間に亘り勿來の關を親しく御見學遊ばされ午後二時自動車に召され恙なく水戸市に御歸還遊ばされたが植田署は非番巡査を召集し署長以下嚴そかに御警衛申し上げ沿道は拜觀ノ人々で雜沓を呈した

# 小野新町に開く無料巡回診療
## 來る二十一日第十三回
## 磐城共濟病院で

平町磐城共濟病院では去る十月廿一日茨城縣大津町外二町六ケ村の希望により大津町に於て第十二回巡回無料診療デーを開き二百數十名の患者を救濟し好成績を擧げたが更らに來る二十一日田村郡小野新町驛前西田屋支店に於て第十三回巡回病院を開く事になつたが無料診察を受けられる町村は田村郡下小野新町、夏井、二瀨、七鄕、飯豐、大越、瀧根並に石城郡川前、三阪の一町八ケ村にして出張する醫師は難波博士外四博士並藥劑士、看護婦廿數名で同地方から非常に期待されてゐるから定めし多數患者で雜沓を呈することであらう因に出張する醫師の氏名左の如し

▲出張醫員（內科）醫學博士難波陸、醫學博士中西林藏（外科）醫學士氏家憲介、醫學博士桂重次（產婦人科）松枝茂（耳鼻咽喉科）醫學士井上俊次郎、醫學博士渡部貞助（眼科）賀澤忠治

# 他人の山林で手附金詐欺
## 喜太郎取調中

耶麻郡吾妻村生れ當時赤井村字高萩小椋喜太郎(五三)は去る六月六日赤井村西小川松本勝吉所有山林立木を價格百十圓で讓り受けたと證文を僞造し平町二丁目大工職鈴木民治より同十圓の手附金を受け取つたこと發覺し平署で取調べ中

# 古河分會行軍

十八日川前村に

好間村古河炭礦在鄕軍人分會では去十八日午前六時下野會長並に湊谷幹事引率の下に同礦竪坑を出發し川前方面に行軍演習を行ひ途中川前の紅葉を賞して歸軍したと

# 四倉漁港の修築は前途頗る有望
## 內務技師が裏書した
## 近く調査終る

石城郡四倉町漁港修築問題は其後擧町一致愈々眞劍となりて運動を續けて居る際は既報の如くであるが農林省より出張された技術官も風雨を冒し人夫を督勵して熱心調査の結果大に進捗したので天候都合が好ければ茲四五日間で終了する模樣なので町民は何れも隨喜し一日も早く縣支辨港灣に編入さるゝと共に實現のさるゝを鶴首して居るが先頃は小名濱に出張中の內務省技術官も來たり町役場及び漁業組合役員其漁港修築委員等の案內にて現場を調査して歸濱したが同技術官の語る處より推測するに四倉港の現場と其他形同一にて成功し居る漁港二三ありとの事である

# 老人を殘して入營
## 神谷分會同情

神谷村中神谷字瀨戶八三鈴木七五三男(二一)は去る十八日御國の爲め祖父傘右エ門(六二)を始めとし父は無く母と幼なき弟妹を遺して遠く朝鮮羅南へ入營したので今般神谷村在鄕軍人分會では農仕事一切の手傳ひをなすことゝなつた

# 四倉の漁船傳書鳩
## 使用の試驗中

四ッ倉町字新町菅波末吉、鈴木寶二兩氏の所有船は此程出漁中漁獲の有無を陸に通信す可く傳書鳩を買ひ入れ試驗中なりと


**貸地廣告**

平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり戴けば社員が御伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社　平出張所
電話　六〇三番　五四一番

**內科診療**

消化器病科　呼吸器病科
小兒內科　一般內科
入院應需（自炊ノ便アリ）

平町鼠坂
渡邊內科醫院
電話一六一番

美味にして強壯の效著大
血をふやし肉を肥やす

スッポン飴　一圓　二圓
スッポン酒　二圓
スッポンヘモクロビン錠　三圓

平町五丁目角
山野邊藥局

內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九